

霧深い丹波の地に、明智光秀公が築いた亀山城。明治初期に廃城になって以来、城址は荒地地となった。数々の変遷を経て、大正期、出口王仁三郎翁はこの地から理想の世界を発信した。芸術活動もその一つ。「芸術は宗教の母」と筆を取り、土をひねった。亀岡から生まれた美と歴史が今に伝わる。

亀岡で生まれた

# 美と歴史

出口王仁三郎一門展  
企画展 亀山城と大本

王仁三郎翁の残した楽焼茶盤「観盤」をはじめ  
大本歴代教主の書画や陶芸作品、大本本部所蔵の亀山城図  
断立や歴史的资料・写真のほか、  
亀岡市文化資料館の協力による貴重な資料の展示で  
亀岡で生まれた美と亀山城址の歴史を語る。



亀山城図断立  
(大本本部蔵)



出口王仁三郎作「観盤」

12月25日(日)～1月24日(火)  
大本本部 みるく会館 9:00～16:00 (入場無料)

- 主催：大本口丹波主会 (お問い合わせ 0771-23-7046 鈴木)
- 後援：亀岡市／亀岡市教育委員会／亀岡市観光協会  
出口王仁三郎翁顕彰会／亀岡市民新聞
- 協力：亀岡市文化資料館 ●協賛：大本本部



